［診療部］

外　　科

部長　清水　一起

1 人員構成（2025年4月1日～2026年3月31日）

●常勤医

・部　長　清水　一起（2017年1月～）
日本外科学会認定外科専門医
日本救急医学会認定救急科専門医
ＩＣＤ制度協議会インフェクションコントロールドクター

・部　長　井手　佳美（2020年2月～）※乳腺外科
日本外科学会認定外科専門医・指導医
日本乳癌学会認定乳腺専門医・指導医
がん治療認定医
マンモグラフィ読影医（Ａ判定）
緩和ケア認定医
乳房超音波講習会（Ａ判定）
遺伝性腫瘍専門医

・医　員　横溝　和晃（2017年4月～）
日本外科学会認定外科専門医
日本消化器外科学会認定消化器外科専門医、指導医
消化器がん外科治療認定医
日本ヘルニア学会鼠径部ヘルニア修得医

・医　員　三浦　康誠（2022年6月～）
日本外科学会認定外科専門医、指導医
日本消化器外科学会認定消化器外科専門医、指導医
消化器がん外科治療認定医
日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医、指導医
日本消化器病学会認定消化器病専門医、指導医
日本大腸肛門病学会認定大腸肛門病専門医、指導医
日本がん治療認定医機構認定医
日本腹部救急医学会認定医
日本緩和医療学会緩和医療専門医

・医　員　水谷　政之（2024年6月～）
日本救急医学会認定救急科専門医
日本外科学会認定外科専門医
日本消化器外科学会認定消化器外科専門医

●非常勤医

なし

●退職医

・医　員　風間　慎太朗（2025年4月～2025年9月）

2 診療体制（2026年3月31日現在）

●一般外来

	月	火	水	木	金	土
午前	横溝	三浦	水谷	外来	清水	外来（処置のみ）
午後	外来（処置のみ）					

●女性外来・乳腺センター（乳腺外科）

	月	火	水	木	金	土
午前	金子	井手	井手		井手	
午後		井手	井手			

3 診療状況

現在、常勤医５名体制で消化器一般外科４名、乳腺外科１名で診療にあたっている。新型コロナウイルス感染症クラスターにて近隣の医療機関にご迷惑をおかけしてしまった時期もあったが、地域医療支援病院としての使命を果たすべく急性腹症や悪性疾患に対し迅速に対応している。

消化管穿孔、急性胆嚢炎、急性虫垂炎などの緊急手術も多く全体の約４割をしめているが､消化器癌(胃癌､大腸癌､肝胆膵腫瘍など)の手術はもちろん、乳癌手術・外来化学療法も積極的に行っている。

基礎疾患の多い高齢者が次第に多くなってきており周術期管理も複雑化してきているが、多職種が介入して安全に行っている。近隣の先生方からの紹介にも十分対応可能な人員を備えており、定期手術のみならず、緊急手術症例にも対応可能である。入院に際してはクリティカルパスを使用し入院日数の短縮化を図っており、退院後は紹介医のもとで経過観察をしていただき、定期的な検査に関しては当院で行うことで近隣医療機関の先生方との連携を図っている。

4 特に力を入れたこと

患者の負担軽減とQOL(Quality Of Life)向上を考慮した腹腔鏡下手術を積極的に導入しており、鼠径ヘルニアも従来の前方アプローチに加え、腹腔鏡下ヘルニア手術(TAPP)も積極的に行っておりその数も増加してきている。また急性胆嚢炎・胆石症による腹腔鏡下胆嚢摘出術はもとより、胃がん、大腸がん(直腸がん含む)などの難易度の高い手術まで積極的に取り入れ、創の小さい手術を安全に施行している。救急疾患である虫垂炎、腸閉塞、十二指腸潰瘍穿孔なども腹腔鏡下手術で施行しているが、重症度の高いショック状態の患者などは開腹手術でも行っており、患者の状態により手術方法は選択している。特に急性胆嚢炎などは緊急手術を行い早期に退院可能となり、患者満足度の高い疾患の一つである。集中治療が必要な、重症度の高い大腸穿孔なども数多く受け入れており地域医療に今後も貢献していきたい。また、肝胆膵腫瘍の手術も積極的に施行し、外科治療のみならずステントによる内瘻化などは消化器内科と合同で治療を行っており(消化器センターとして)、化学療法なども加え集学的治療を行っている。乳腺外科専門の常勤医もおり、乳がん治療も手術のみならず検診・化学療法なども行っている。今後益々、地域の患者を積極的に受け入れて地域完結型の医療をめざしていきたい。

5 今後の課題

緊急手術を要する患者の受け入れはもとより、手術が必要か迷うような疾患・状態(がん、炎症性疾患)に対しても気軽にご相談・ご紹介いただきたい。地域のニーズに応えるべく高齢者や併存疾患の多い悪性腫瘍・急性腹症に対応できるように、チームで質の高い安全で安心な医療を提供して、癌治療を担う病院として選ばれるように近隣の医療機関とさらなる連携を深めていきたい。

● 1日平均外来・入院患者数

外来／入院：医事課
単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度
外来(外　　科)	23.3	26.3	25.3	24.3	24.8	28.4	26.7	27.5	23.9	29.9	24.0	27.0	25.9	22.6
外来(乳腺外科)	19.9	18.3	17.4	19.5	13.8	20.9	18.9	18.9	18.5	20.0	19.1	17.8	18.6	12.3
入院(２科合計)	16.9	19.2	18.7	20.5	24.2	28.8	19.4	20.2	16.7	16.3	18.0	14.2	19.4	15.2

●術式統計

単位：件

	臓　器	術　式	件数
上部消化管	食道	胸腔鏡下食道亜全摘術	0
		腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復術	0
		計	0
	胃	腹腔鏡下胃全摘術	0
		腹腔鏡下噴門側胃切除術	0
		腹腔鏡下幽門側胃切除術	6
		腹腔鏡下胃部分切除術	0
		腹腔鏡下胃空腸吻合術	0
		腹腔鏡・内視鏡合同胃局所切除術	1
		腹腔鏡下穿孔部縫合閉鎖術	1
		胃全摘術	1
		噴門側胃切除術	0
		幽門側胃切除術	2
		胃部分切除術	0
		胃空腸吻合術	1
		胃瘻造設術	1
		穿孔部縫合閉鎖術	0
		計	13
	十二指腸	腹腔鏡下穿孔部縫合閉鎖術	3
		穿孔部縫合閉鎖術	0
		計	3
肝胆膵	肝臓	拡大左葉切除術	0
		区域切除術	0
		亜区域切除術	0
		部分切除術	0
		腹腔鏡下肝嚢胞開窓術	0
		計	0
	胆嚢	腹腔鏡下胆嚢摘出術	84
		胆嚢摘出術	0
		拡大胆嚢摘出術	0
		計	84
	胆管	胆管空腸吻合術	0
		総胆管切開採石術	0
		計	0
	膵臓	亜全胃温存膵頭十二指腸切除術	0
		膵体尾部切除術(+脾臓摘出術)	0
		計	0
	脾臓	脾臓摘出術	1
		計	1
下部消化管	小腸	腹腔鏡下腸閉塞解除術	18
		腹腔鏡下小腸部分切除術	12
		腸閉塞解除術	8
		小腸部分切除術	5
		その他	5
		計	48

	臓　器	術　式	件数
下部消化管	虫垂	腹腔鏡下虫垂切除術	73
		腹腔鏡下盲腸部分切除術	1
		腹腔鏡下回盲部切除術	0
		虫垂切除術	0
		計	74
	結腸	腹腔鏡下結腸切除術	25
		腹腔鏡下人工肛門造設術	0
		腹腔鏡下人工肛門閉鎖術	0
		結腸切除術	6
		人工肛門造設術	1
		人工肛門閉鎖術	0
		その他	0
		計	32
	直腸	腹腔鏡下直腸高位前方切除術	5
		腹腔鏡下直腸低位前方切除術	8
		腹腔鏡下直腸超低位前方切除術	0
		腹腔鏡下内肛門括約筋切除術	0
		直腸高位前方切除術	1
		直腸低位前方切除術	2
		腹腔鏡補助下腹会陰式直腸切断術	0
		腹腔鏡下ハルトマン手術	0
		ハルトマン手術	1
		計	17
	肛門	その他	3
		計	3
ヘルニア	ヘルニア	腹腔鏡下鼡径ヘルニア修復術	28
		腹腔鏡下大腿ヘルニア修復術	0
		腹腔鏡下閉鎖孔ヘルニア修復術	2
		腹腔鏡下腹壁瘢痕ヘルニア修復術	0
		腹腔鏡下臍ヘルニア修復術	0
		鼡径ヘルニア根治術	14
		大腿ヘルニア修復術	4
		閉鎖孔ヘルニア修復術	0
		腹壁瘢痕ヘルニア修復術	3
		臍ヘルニア修復術	1
		計	52
乳腺	乳腺	乳房温存術	26
		乳房切除術	12
		マンモトーム生検	45
		乳腺腫瘍摘出術(良性)	10
		計	93
肺	肺	胸腔鏡下肺部分切除術	1
		計	1
その他	その他	気管切開術	4
		CVポート造設術	19
		CVポート抜去術	1
		粉瘤切除術	5
		リンパ節生検	3
		切開排膿術	1
		その他	2
		計	35
合計			456

※乳腺の統計内訳は乳腺外科(P.84)参照のこと